

## (11) 耳鼻咽喉科（井田病院）（選択科目）

### A. 研修目標

#### 1. 一般目標

外来研修では耳鼻咽喉科の基本的知識を学び、プライマリーケアで必要な診療、検査、一般外来処置の習得を目標とする。病棟研修では包帯交換、処置、術前術後管理、耳鼻咽喉科の基本的手術の助手としての手技の習得を目標とする。

#### 2. 行動目標

##### 1) 患者と医師関係

- ・患者の社会的側面を配慮した意思決定ができる。
- ・守秘義務の徹底。

##### 2) チーム医療

##### 3) 問題対応能力

##### 4) 安全管理

##### 5) 医療面接

- ・患者の適切な問診ができる。
- ・コミュニケーションスキルの習得。

##### 6) 症例呈示

##### 7) 診療討画

- ・クリニカルパスの活用。
- ・聴覚・平衡障害、音声障害、嚥下障害、頭頸部悪性疾患などに対してリハビリテーション、在宅医療介護を含めた総合的治療計画に参画できる。

##### 8) 医療の社会性

- ・医療保険制度
- ・社会福祉、在宅医療
- ・医の倫理
- ・麻薬の取り扱い
- ・文書の記録、管理について

#### 3. 経験目標

##### 1) 基本的診察法の実施

- (1) 耳鏡検査にて外耳、鼓膜所見を観察する。
- (2) 鼻鏡検査で鼻腔内を観察する。
- (3) 間接喉頭鏡検査での喉頭観察を含め、口腔・咽頭・喉頭を観察する。

##### 2) 基本的検査の実施と検査選択・指示およびその結果の解釈

- (1) 聴力検査

- (2) 平衡機能検査
- (3) アレルギー検査
- (4) 耳、鼻、喉のファイバースコープ検査
- (5) 耳鼻咽喉科領域のX線、CT、MRI

3) 基本的処置の実施

- (1) 外耳、中耳の処置
- (2) 鼻副鼻腔の処置
- (3) 咽頭の処置
- (4) 気管切開の手技、気管カニューレの管理
- (5) 鼻出血の止血処置
- (6) 頭頸部腫瘍手術後の処置

4) 経験すべき疾患の診断、治療計画の立案と保存的療法の実施

- (1) 耳疾患（急性外耳道炎、急性化膿性中耳炎、慢性化膿性中耳炎、滲出性中耳炎、中耳真珠腫）
- (2) 内耳疾患（主にメニエール病、突発性難聴）
- (3) 鼻副鼻腔疾患（主に急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎）
- (4) 咽頭喉頭疾患（主に急性扁桃炎、伝染性単核球症、扁桃周囲膿瘍、急性喉頭炎、急性喉頭蓋炎、声帯ポリープ、反回神経麻痺）
- (5) 異物（主に、外耳道、鼻腔、咽頭、喉頭、食道）
- (6) 頭頸部腫瘍

B. 研修計画

**【週間スケジュール】**

	月	火	水	木	金
午前	回診 一般外来	回診 一般外来	回診 手術	回診 一般外来	回診 一般外来 耳鼻難聴外来
午後	喉頭音声外来	多職種病棟カンファレンス 嚥下検査 (内視鏡・造影)  術前・術後カンファレンス	手術  めまい外来陪席	嚥下検査 (内視鏡・造影)	一般外来 超音波検査

C. 指導体制

#### D. 研修評価

- 1) 研修医は、経験目標に従って、自己の研修内容を研修医手帳に記録し、退院サマリーを記載し、指導医に提出しフィードバックを受ける。
- 2) 研修終了時に、当院研修医評価票に基づいて評価を行う。